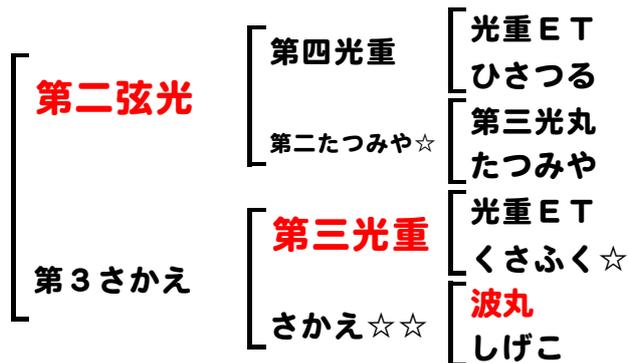


# 熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2015

## つるみつはる 褐毛和種種雄牛「弦光晴」の選抜



### 問 研究のねらいは？

答 熊本県で昔から多く飼われている褐毛和種について、その牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

### 問 本牛の特徴は？

答 枝肉重量やバラの厚さに優れており、さらに雌の肥育において脂肪交雑が特に優れている種雄牛であり、「第二弦光」の後継牛として今後の活躍が期待されます。

### 【現場後代検定成績】

(単位: kg, cm<sup>2</sup>, cm)

頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(3・4等級率)
去勢 7 頭	25.5	498.1	51.4	7.8	3.4	72.0	3.29	71.4% (5/7)
雌 7 頭	25.3	459.7	53.9	8.1	3.4	72.9	4.29	71.4% (5/7)

### 【産子の枝肉】



形質	程度	-1	0	1	2	3	程度	SBV
枝肉重量	小さい						大きい	1.28
ロース芯面積	小さい						大きい	0.73
バラの厚さ	薄い						厚い	1.17
皮下脂肪	厚い						薄い	-0.06
脂肪交雑	少ない						多い	2.75

### 標準化育種価 (SBV) とは？

育種価(遺伝的能力)を明確化した数値  
1を超えるとその特徴を持つといえる